

ラジオNIKKEI ■放送 毎週木曜日 21:00~21:15

マルホ皮膚科セミナー

2013年4月11日放送

「第27回日本乾癬学会① 大会を終えて」

新潟大学大学院 皮膚科
教授 伊藤 雅章

乾癬治療の新時代と生物学的製剤

昨年（2012年）9月7～8日、新潟市の朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）において第27回日本乾癬学会学術大会を開催し、盛会裏に終了することができました。学術大会は、始めに、私の会長挨拶があり、続いて学会事務局による会務報告、さらに乾癬学会が全国的に毎年実施している乾癬症例登録の統計結果について、本学術大会の藤原浩事務局長による報告がありました。

学術大会のメインテーマは「乾癬治療の新時代」としましたが、その背景として乾癬に生物学的製剤の適応が認められ、全国で広く使われ始めたことがありました。このことにより乾癬治療の考え方が大きく変化しつつあると言えます。学術大会直前

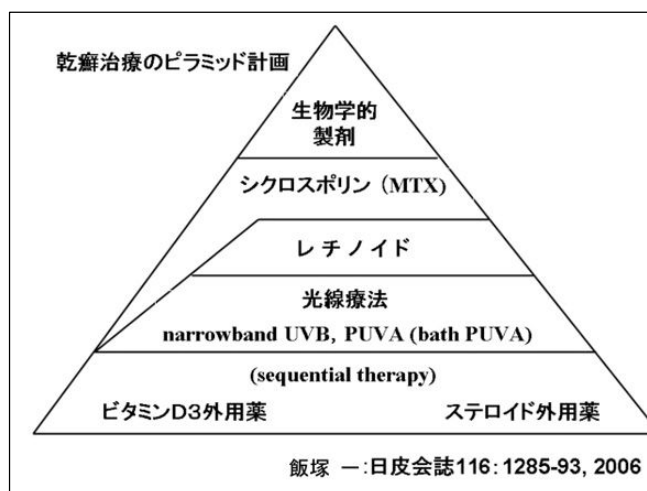
第27回 The 27th Annual Meeting of the Japanese Society for Psoriasis Research
日本乾癬学会学術大会

会期 2012年9月7日(金)・8日(土)
会場 朱鷺メッセ (新潟市)
会長 伊藤 雅章 (新潟大学医学部皮膚科学教室)

テーマ 「乾癬治療の新時代」

2012 NIKKATA

で学会の正会員数が 700 人台になったとのことでしたが、何と 800 人を超える参加者があり、一般演題数も 117 題と過去最多で、さらに生物学的製剤治療に関する一般演題が多数を占め、その高い注目度や重要性を再認識しました。前年、2011 年の第 26 回大会でもすでに多くの一般演題が生物学的製剤に関連するものでしたが、今回はさらに内容的にも発展して、単なる治療経験というよりは、生物学的製剤を使つての問題点を把握して工夫するものが多いと思いました。ただし、教育講演を戴いた飯塚一教授の乾癬治療ピラミッド計画¹⁾にあるようにこれまでの各種の治療法も重要であり、むしろ乾癬治療の選択肢が多岐にわたり、皮膚科医は専門的知識や技量を十分に活かさなくてはなりません、乾癬という難治性皮膚疾患を上手く治療できる時代になりつつあるのだと感じました。また飯塚教授のご講演は「乾癬治療：生物学的製剤の時代におけるピラミッド計画」ということでしたが、流石にピラミッドを作られた先生だけに、図を見て解釈している我々と異なり、ピラミッドの内部や周囲に奥深いお考えや理論があることが判り、ピラミッドの真理が明らかにされる機会になりました。



高齢化社会と乾癬治療

特別講演では、中川秀己教授が、日本乾癬学会理事長自ら、「高齢化社会における乾癬治療を考える」と題して、高齢化社会を迎えての乾癬治療の現状の課題と将来の展望を熱く語っていただき、さらに生物学的製剤のメーカーは、寿司に例えれば「特上～上生」であるべきで「並」ではダメ、とくに後発メーカーはしっかりしなさいという熱いメッセージが印象的でした。2013 年の第 28 回学術大会は、9 月に中川教授が会長で東京にて開催されますが、東京ドームホテルとのことで、大変楽しみです。また、私なりに高齢化ということで少し考えてみますと、高齢患者への生物学的製剤の投与は、乾癬を抑え込むのに楽な治療法と思いますが、免疫低下や感染症、あるいは悪性腫瘍の危険性は増加していますので、若年者より慎重に適応を考えなくてはならないことは周知のことです。しかし、さらに考えますと、すでに生物学的製剤を投与して良好な状態にあっても、数年～数十年後、その患者さんが高齢化した時、どのようなことになるのかというと、予想できないこともあります。

シンポジウム

さて、今回、シンポジウムとしては、「乾癬基礎研究の最前線」のほか、生物学的製剤に関連して「生物学的製剤による乾癬治療：次の一手は?」、「バイオリジクス時代を向かえた今、光線療法を考える」、「生物学的製剤時代の psoriatic arthritis 治療を考える」、「生物学的製剤時代の乾癬治療について考える：患者さんの QOL の観点から」の 5 セッションを設けましたが、いずれも盛会で、内容もきわめて有意義でした。各オーガナイザーおよび演者の方々に深く感謝しています。この中で、psoriatic arthritis についての

シンポジウムではオーガナイザーおよび演者として、日本リウマチ学会からもご参加いただきましたが、これはオーガナイザーのお一人、大槻マミ太郎教授のご提案で実現したものです。このような他の学会との交流は日本乾癬学会としては今回が初めてであり、これもまた生物学的製剤の出現によると言え、新時代を象徴することだと感じています。また、「患者さん QOL」のシンポジウムでは、全国第 15 番目の乾癬患者の会として「新潟乾癬友の会」が 2012 年 2 月に発足したばかりでしたので、新潟地域の患者さんも参加して、とても有意義なものとなりました。新潟乾癬友の会の活動も活発化するものと思われます。

鳥居・帝國乾癬研究奨励賞

前年の第 26 回学術大会から鳥居・帝國乾癬研究奨励賞が設けられましたが、その 2011 年度第 1 回研究奨励部門受賞者である東海大学、赤坂江美子先生による「予後からみた乾

9/7 (金)		日程表 第1日目			
		A会場	B会場	C会場	D会場
		2F スノーホール1/2	2F 中会議室201	3F 中会議室301	3F 中会議室302
8:00					
9:00	9:00~9:30 会長挨拶		9:00~9:15 会長挨拶 9:15~9:25 会務報告 9:25~9:30 乾癬登録報告		
9:30	9:30~10:30 特別講演 「高齢化社会における 乾癬治療を考える」 中川 秀己【伊藤 雅章】				
10:00	10:30~10:40 記念写真撮影				
11:00			10:40~11:50 一般演題(1-7) 関節症性乾癬 【赤坂 俊英/加藤 則人】	10:40~11:50 一般演題(30-36) 基礎研究-1 【飯島 正文/眞鍋 求】	
12:00			12:00~13:00 ランチョンセミナー1 西口 修平/松本 智成 【大槻 マミ太郎/朝比奈 昭彦】 共催:エーザイ/アボット/ジャロシ	12:00~13:00 ランチョンセミナー2 安部 正敏/高橋 英俊 【小川 秀典/武藤 正彦】 共催:マルホ	12:00~13:00 ランチョンセミナー3 江藤 隆史 【島田 真路】 共催:マイラン製薬
13:00	13:10~14:10 シンポジウム1 「乾癬基礎研究の最前線」 柴田 彩/森実 真/中島 英貴 【水谷 仁/佐野 栄紀】	13:10~14:00 一般演題(8-12) アンケート調査、地域連携-1 【中村 晃一郎/奥山 隆平】	13:10~14:00 一般演題(37-41) インフリキシマブ-1 【上里 博/相場 節也】	13:10~13:50 一般演題(55-58) 自己免疫性水疱症 【成澤 寛/鶴田 大輔】	
14:00	14:20~15:00 教育講演 「乾癬の治療：生物学的製剤の 時代におけるピラミッド計画」 飯塚 一【川島 眞】	14:00~14:40 一般演題(13-16) アンケート調査、地域連携-2 【清島 真理子/相原 道子】	14:00~14:50 一般演題(42-46) インフリキシマブ-2 【神崎 保/坪井 良治】	14:00~15:00 一般演題(59-64) アダリムマブ-1 【岩月 啓氏/渡辺 大輔】	
15:00		15:10~16:00 一般演題(17-21) 膿疱性乾癬 【金蔵 拓郎/須賀 康】	15:10~16:00 スイーツセミナー 川原 繁/森田 明理 【渡辺 晋一】 共催:翰/インフォワード		
16:00	16:10~17:30 シンポジウム2 「生物学的製剤による乾癬治療 ～次の一手は?～」 馬淵 智生/松山 麻子/遠藤 幸紀 志崎 亜紀/末木 博彦 スペシャルコメンテーター:五十嵐 敬之 【瀬戸山 亮/小澤 明】 共催:エーザイ/アボット/ジャロシ	16:10~17:30 一般演題(22-29) paradoxical reaction 【錦織 千佳子/山下 利春】	16:10~17:30 一般演題(47-54) 基礎研究-2 【斎藤 隆三/照井 正】		
17:00					
18:00	懇親会 18:00~20:00 ホテル日航新潟 4F 朱鷺				

癬における治療の再評価：東海大学医学部付属病院開院以来の 30 年の解析」という報告演題がありました。乾癬の研究と治療のメッカである東海大学皮膚科のこれまでの治療成績や考え方をまとめたもので、とても立派な内容でした。一方、今回、2012 年度第 2 回受賞者が表彰されましたが、何と再び東海大学で馬淵智生先生の「乾癬病変部における $\gamma\delta T$ 細胞の役割」になりました。私も審査委員会の委員でしたが、厳正な審査の結果ですので、小澤明教授のご指導の賜と思います。内容は次回、第 28 回学術大会で報告されることになっています。この奨励賞には、当然乾癬に関することですが、研究奨励部門 1

名のほかに、国外学会発表助成部門 2 名、当該の学術大会で発表した優秀な演題を表彰する学会発表部門 4 名があります。いずれも学会会員であることが条件ですが、それぞれ 100 万円、20 万円、10 万円という副賞も授与されますので、皮膚科で乾癬の研究や治療に従事されているとくに若手の先生方は、まずは学会会員になって、これらの賞に挑戦してみたいかたがたでしょう。このような学会賞は、スポンサーに感謝するところではありますが、学会の発展に寄与し、しいては日本における乾癬研究の進歩につながるものと考えます。

セミナー

メーカー共催セミナーは、モーニングセミナーが 1 つ、ランチョンセミナーが 6 つ、スイーツセミナーが 1 つで、計 8 セミナーありましたが、テーマも生物学的製剤関連、ビタミン D3 外用関連、患者 QOL 関連、光線治療関連あるいは乾癬治療全般などバランスも

日程表 第2日目				9/8(土)
A会場	B会場	C会場	D会場	
2F スノーホール1/2	2F 中会議室201	3F 中会議室301	3F 中会議室302	
	8:30~9:30 モーニングセミナー 佐伯 秀久/今福 信一 【中川 秀己/中山 樹一郎】 共催：パルティス ファーマ(株)			8:00
	9:40~10:30 一般演題 (65-69) ウステキヌマブ-1 【三橋 善比古/山西 清文】	9:40~10:40 一般演題 (76-81) アダリムマブ-2 【窪田 泰夫/佐藤 貴浩】	9:40~10:30 一般演題 (97-101) 合併病変 【土田 哲也/田中 俊宏】	9:00
10:15~11:45 シンポジウム3 「バイオロジック時代を 向かえた今、光線治療を考える」 森田 明理/根本 治 大久保 ゆかり/伊藤 寿啓 【森田 明理】 共催：ウシオ電機(株)	10:40~11:40 一般演題 (70-75) ウステキヌマブ-2 【古川 福美/石河 晃】	10:40~11:40 一般演題 (82-87) アダリムマブ-3 【望月 隆/藤本 亘】	10:40~11:40 一般演題 (102-107) その他の治療 【横関 博雄/佐山 浩二】	10:00
	12:00~13:00 ランチョンセミナー4 五十嵐 敬之/伊藤 圭 【石橋 康正/大塚 寿男】 共催：ヤンセンファーマ(株)	12:00~13:00 ランチョンセミナー5 馬淵 智生/池田 志孝 【小澤 明/江藤 隆史】 共催：鳥居薬品(株)/帝國製薬(株)	12:00~13:00 ランチョンセミナー6 根本 治/岡野 登志夫 【片山 一朗/川田 暁】 共催：帝人ファーマ(株)	11:00
13:10~14:40 シンポジウム4 「生物学的製剤時代のPsoriatic Arthritis治療について考える」 基調講演：竹内 勤 【大槻 マミ太郎】 パネルディスカッション： 森田 明理/今福 信一 岡田 正人/齋藤 和義 【大槻 マミ太郎/竹内 勤】 共催：田辺三菱製薬(株)	14:00~15:00 シンポジウム5 「乾癬患者の会シンポジウム」 「生物学的製剤時代の乾癬治療について 考える～患者さんのQOLの観点から～」 安部 正敏/角田 洋子/辻本 友高 内田 雅也 【小林 仁/齋藤 光】 共催：田辺三菱製薬(株)	13:10~14:10 一般演題 (88-93) 抗酸菌感染 【岡本 祐之/山本 俊幸】	13:10~14:20 一般演題 (108-114) 生物学的製剤一般 【金子 史男/松永 佳世子】	12:00
14:40~15:10 学会賞表彰・講演		14:20~14:50 一般演題 (94-96) ウイルス感染 【熊切 正信/上出 良一】	14:30~15:00 一般演題 (115-117) 非感染性肺炎 【川名 誠司/清水 忠道】	13:00
15:10~15:20 閉会の辞				14:00
				15:00
				16:00
				17:00
				18:00

企業展示 (2F スノーホール1/2)

9月7日(金) 9:00~17:30
9月8日(土) 9:00~14:00



【 】は座長です

とれていて、またいずれも素晴らしい内容でした。オーガナイザーや演者の方々ならびに共催メーカーに大変感謝しています。

おわりに

いずれの会場も満杯で、席の数が足りない会場も出るなど、大盛況ではありましたものの、これは一方では事務局の「想定外」ということで、参加者の方々にはかえってご迷惑をおかけしたのではと思っています。ここに、深くお詫びを申し上げたいと思います。ところで、今回、新潟県厚生連のご厚意で小千谷縮の巾着袋に魚沼産コシヒカリ 1 kgを入れて、ご参加の方々に先着順で1名に1個ずつお配りしましたが、用意した計 500 袋が第1日目の昼過ぎに無くなってしまいました。これは私の予想が外れた結果で、厚生連が数を惜しんだわけではありません。まさか 800 人を超える参加人数になるとは予想できませんでした。私の分も残りませんでした。もらった方々にはとても喜んでいただきました。初日の早くから学術大会に駆け付けてくれた方々が得をしたということで、お許しください。しかしながら、もらえなかった方々も懇親会では、新潟の銘酒をたっぷり召し上がっていただけたと思いますので、どうぞご容赦のほどお願いいたします。

最後ですが、新潟におきまして乾癬の全国学会を開催でき、しかも盛会裏に終了できました。これは、私および我が新潟大学皮膚科学教室にとって重要な業績になりますとともに、新潟における乾癬に関する地域医療の向上にきわめて有意義で、また、新潟乾癬友の会の活動にも有益と思っています。日本乾癬学会の中川理事長はじめ役員の方々およびすべての会員の皆様、また、会員でなくてもご参加いただいた先生方、ご協力いただいたメーカーの各位、そして、大会を滞りなく運営していただいたオフィステイクワンに深謝いたします。藤原事務局長および教室スタッフの頑張りやチームワークも良かったと思います。日本乾癬学会の益々の発展と充実、さらに乾癬治療のさらなる進歩を祈ります。

文献

- 1) 飯塚 一: 乾癬治療のピラミッド計画. 日皮会誌 116: 1285-1293, 2006.